

御殿場

# 十字の園

(題字 鈴木生二)

発行/総合福祉施設  
御殿場十字の園  
施設長 高橋雅昭  
〒412-0023 御殿場市深沢1465の1  
TEL 0550-83-1999  
FAX 0550-82-5189  
<http://www.jyuji.ne.jp>  
e-mail: info@g.jyuji.or.jp  
印刷/大和印刷株式会社

2023  
No.232

(聖句)喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



「人間が幸せでも猫が幸せとはかぎらないが、猫が幸せなら人間もきっと幸せである。」墨絵画家：中浜 稔  
ケアハウス御殿場アドナイ館の正面玄関にて。此処に居てくれることが笑顔と幸せをもたらしてくれます。  
ケアハウス室長御猫・しろ

## イルド

理事長 鈴木 淳司

家畜のためには牧草を茂らせ、地から糧を引き出そうと働く人間のために、さまざまな草木を生えさせられる。

(詩編一〇四篇一四節)

皆さんは矢野智徳さんと言う方をご存じですか？彼は造園家で、大地の再生に取り組まれる方です。著書の中で「本来の大地は雨の時も、晴天の時も、地上と地下の空気と水が浸透循環し、清々するような対流が補償されたもので」した。と語られます。しかし、本来の姿を知らない人間によって、大地は覆われ、踏み固められ、水は川から海に早々に流れてしまいきます。そして、森の地下の水流は減り、空気は淀み、循環が断ち切られています。動物たちは自然に循環を助けていますが、利便を求める人間はそれができません。矢野さんは移植鏝と、のこ鎌で誰でも大地の再生を始められると言われます。神様の創造の御業を見つめる素直な眼差しを祈り求めます。

## 関わりを大切に

御殿場十字の園施設長 高橋 雅昭

気が付くと早いもので二〇二三年も終盤となりました。今年を振り返るのも少し早い気がしますが今年も様々なことがありました。その中の一つが新型コロナウイルスの五類への移行です。様々なことが大幅に緩和され、自主的な判断に委ねられることが多くなりました。周りを見ますとマスクを着けている人たちが大きく減った感じもします。

人々は元の生活に戻りコロナ前の生活に戻ってきています。そのような中でいまだに自由にできない業種があります。それが介護業界です。当施設も徐々に以前のようには開かれた施設へと移行したいと思っていますが施設の構造上感染拡大を防ぐことが難しいことや過去の施設内感染に対応してきた経験上慎重にならざるを得ないというジレンマを抱えています。

そのような中で今年も四年ぶりに園遊会（敬老会）を開催することができました。午前中の短い時間で式典のみの開催で、式典終了後に写真撮影の時間を作らせていただきました。

コロナ前のように大々的に開催することはできませんでしたが、一部の利用者の方・ご家族をお招

きして開催することができました。この三年間は面会の制限、外部の方の施設への出入りも制限されました。そのような状況が三年も続いたことにより、利用者の方、スタッフとご家族との関わる機会が減ってしまっています。

しかし今回園遊会を開催してその時感じたことはやはりご家族の存在の大きさです。利用者の方たちのお顔を見ていても普段なかなか見ることができない満面の笑顔でご家族とお話している姿を見ました。改めて私達も開催できて良かったと心から思える素晴らしい式典になりました。

現在面会は再開してはいますがまだいつでも、自由に面会ができるということができない現状ではあります。また、ここ二、三年前に入職した職員はご家族との関わり、行事等についても以前はどのように行っていたのか知らない状況もあります。そのような状況ではあります。本来的あるべき姿を忘れずに今後も試行錯誤していくことが求められています。利用者との関わりは言うまでもなく大切であり、今後もご家族との関わりを大切にしていきたいと思

## 職員紹介

地域包括支援センター御殿場十字の園  
島田 道代

保健師の島田道代です。出身は御殿場市。地域包括支援センターの仕事は初めてなので、不慣れですが一日も早く地域の皆さんの力になれるようにしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

包括支援センターさくら通り  
山口 恵

包括支援センターさくら通り配属の山口恵です。前職は医療機関で看護師として勤務していました。休日は家の草刈りや庭いじりで、ハーブを植えてバジルソースや季節の果物でジャム作りをしています。包括の仕事は未経験ですが、私たちが必要とする方やその家族に喜んでいただけるように心がけていきます。

御殿場デイサービスセンター  
吉田 モニカ

皆さん初めまして。アルゼンチン出身の吉田モニカと申します。今まで他の施設でお仕事をしていました。今回縁あって御殿場十字の園で働けることになりました。十月から御殿場デイサービスセンターで頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



## 三階寮棟 後藤 ちひろ

三階寮棟に配属になりました後藤ちひろです。私はスポーツ観戦が大好きです。苦手なものは・・・実は勉強。介護の分野は未経験ですが、一日も早く皆さんに追いつけるよう努力していきます。



## 三階寮棟 大森 一毅

三階で勤務しています大森一毅です。趣味は映画鑑賞です。苦手なものは爬虫類です。平和に楽しく、皆さんと仕事をしたいように心がけていきます。



見学1

社会福祉法人 青森社会福祉振興団  
特別養護老人ホーム まるめろ



宮城県仙台市にある定員80名  
2022年設立の新しい施設です。  
コロナへの対応も考えられた施設です。



ベッドだけではなく居室全体の様子を  
写すカメラが1ベッドに1台ついており、  
映像はシルエットで映されることで  
プライバシーにも配慮されています。

あらかじめ設定したレベルの動きをカメラが感知して職員が携帯する専用のスマートフォンにすぐに送られ、職員は入居者の状態を把握し適切に対応します。またこの情報も記録されるようになっています。



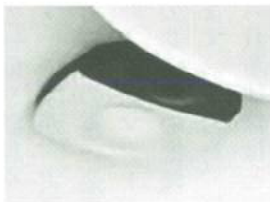
見学2

社会福祉法人 聖隷福祉事業団  
和合せいれいの里内  
特別養護老人ホーム  
和合愛光園

従来型62名  
ユニット型40名  
ショートステイ20名 等



こちら天井付けのカメラがついておりました。このような形が主流になるのかと思いましたが、スマートフォンに映る映像は、見学1の「まるめろ」のシステムとは違う感じです。



職員同士の通話は BONX という機器を使用しています。インカムのように使えて会話先を絞る事も可能です。愛光園は通話と見守りお知らせや記録を1台のスマートフォンで賄えるところにメリットを感じました。



2施設を見て、Wi-Fi がつながるように設備を整える事は両施設共に共通に大切な事と言えました。御殿場十字の園においてはどのような機器がフィットするのか今後職員皆で今の業務を整理しながら考え必要な費用も考えつつ導入へのプロセスを踏む必要性を感じています。

介護現場における ICT について

ICT=Information Communication Technology の略称

- ・ペーパーレス化によって、書類作成の手間や情報を探す手間、二重記録記載の手間などを削減
- ・見守りセンサーや介護ロボットによる介護業務負担軽減
- ・モバイル端末導入による情報共有の円滑化

などをさします。

見守り機器・介護ICTに関する施設見学報告

施設課長 高木 直也

## 自分で行動できる楽しさを

三階 ひばりユニット

三階ひばりでは現在、個別の機能訓練に力を入れています。立ち上がりのできる方・車椅子での自走ができる方・歩行器で歩行ができる方などその方に合わせた機能訓練を実施しています。自分の足で歩く、手で車椅子を漕ぐ動作を行って筋力の維持を図る機能訓練、また便秘の方には腸の蠕動（ぜんどう）を促す運動目的といったその方の生活課題に合わせた目的の運動を実施しています。

また単純な『訓練』だけではなく、入居されている皆さん同士が車椅子で一緒に散歩して、顔馴染みの関係ができる等、機能訓練の中にも楽しさを見つけて出すことができるよう心がけています。また遠方への外出ができない中でも施設の敷地内の散歩、あるいはフロアの外に面した大窓から見える富士山や景色を見て季節の移り変わりを感じる事ができていただけると嬉しいです。四季を感じ、その季節に触れる、例えば季節感あふれる歌に興じたりと、機能訓練だけではなく、その中で職員との信頼関係が得られるように人としての関りあいも大切にしています。

自身で行動できる楽しさを実感していただくとともに、皆さんの日常生活における無理のない課題をお渡しして、日々楽しく日常が送れるようにお手伝いしていきたいと思えます。



## ホームヘルパーとは

松本 有里

訪問介護員（ホームヘルパー）にどのようなイメージを抱いているでしょうか。「訪問したお宅の掃除や調理をすることがお仕事」と想像されやすいですが、実際には訪問して「対一で介護をする責任の重い業務です。基本的な介護技術をはじめ、接遇マナー、病識や薬に関する情報、医療や公共機関の把握などの専門的な知識が必要となります。その為、毎月のヘルパー会議内で知識を得られる研修はとても大切です。

今回の研修では、福祉機器メーカーのご協力の元、最新の福祉機器について学びました。自宅に設置する搬送リフトは考えていたほど揺れず安定感があり、足にベルトを交差させて乗せる事も知り初めての体験ができた良い機会となりました。

在宅、つまり自宅で生活していく上で介護が必要となる方（要介護者）は増えていくといわれています。安心・安全・快適な住み慣れた自宅環境での生活（在宅生活）を維持する支援ができる様に、様々な研修を通して自己研鑽に励んでまいります。



## セラピードッグってどんな犬？

榊田 志保（相談役セラ）

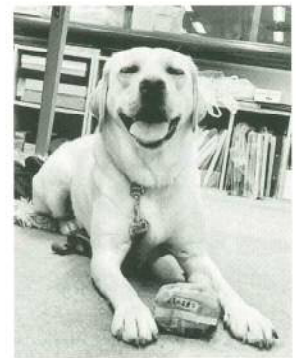
セラピードッグは、人の心身の健康に役立つように訓練された犬です。主に、高齢者、障がい者、病気の人の、孤独や不安を感じている人などに対して、愛情や安心感を与える役割を担っています。

セラピードッグに求められる資質はつぎのとおりです。

- ・人懐っこく、人とのコミュニケーションを楽しめる性格であること。（相談役セラは完璧）
- ・健康で病気や怪我がなく、定期的な健康診断を受けていること。（もちろん、ちゃんとしています）
- ・躰（しつけ）がきちんとできていること。（？）
- ・落ち着きがあること。（・・・(-\_-;))
- ・人に危害を加えないこと。（危害を加えるつもりはないけど・・・）
- ・物を壊したりするなどの問題行動がないこと。（え？(° - °) )

事務所にいる相談役セラは『立派なセラピードッグ』になるために、まだまだ訓練中です。

「私と気長に付き合ってください」（犬と私の10の約束より）



## 看護室紹介

看護室は十名の看護師が活躍中です。内訳として八名は特養・ショートステイ・ケアハウス・グループホームと百名以上の私達施設利用者の看護を担当しています。二名はデイサービス（一階フロアー内の三ヶ所）の看護を担っています。様々な医療知識や看護観・経験がある中で、それぞれが持つ知識や技術を出し、お互いに協力し合いながら対応にあたっています。

看護室では他職種含めて毎日カンファレンスを実施しています。日々の皆さんの状態報告や気になる方について議題にあげ情報の共有をしています。

高齢者施設において看護師が一番関わるのが、施設を利用する方々が十字の園で最期までその人らしく生活できるようにサポートすることです。一人一人の生活状況やケアの仕方について、常に介護・リハビリ・栄養士・歯科衛生士とで情報の共有をおこなって、連携を図っています。皆さん優しいのでいつでも相談して下さいます。



# 五味さんぽ

第二回

替玉無双豚ざむらい



五味さんぽ第2回目は御殿場市のパチンコデルゾー正面入り口右側にある「替玉無双豚ざむらい」です。  
 店内はカウンター10席で食券制のラーメン屋になっていきます。二郎系ラーメンというジャンルのラーメンで、豚骨醤油のスープに太いワシワシの麺で山盛りのもやしと大きい焼豚が乗っかっていて食べ応えのあるガッツリ系ラーメンです。よくある二郎系ラーメンでは提供される前に自分でお好み(ニンニクの量、背脂の量、もやしの量、味の濃さ)を口頭で伝えるコールと呼ばれるものがあるのですが、このお店では初めての方も来店しやすいようにタッチパネルの食券機になっておりタッチパネルでラーメンのお好みを全て決め店員に食券を渡すようになっていきます。味は醤油と塩の2種類あり、それぞれスープがある通常とまぜそば風の汁無しラーメンがあります。麺の量も300グラム200グラム100グラムから決められます。100グラムの場合は焼豚が入っていない分安いです。初めての方は真ん中の200グラムがオススメです。営業時間は平日十一時から十五時、十八時から二十二時の2部制、土日は十一時から十五時までのお昼の営業になっています。土日のお昼頃はお客が多いので平日の夕方がオススメです。



## ツボ刺激でセルフケア



さとうメディカル

### 【肩井 (けんせい)】

「肩こり常用のツボ」とも言われ、肩こりの人はここを押されるとキモチいいでしょう✦

### 【効果】

肩こり、緊張性頭痛、五十肩など

### 【美容効果】

お顔への血流を良くして顔色良好✦

### 【ツボの場所】

首後ろの突起した骨と肩の先端を結んだ中間

### 【刺激方法】

人差し指か中指の腹を使いキモチ良い強さで垂直方向(真下)に刺激しましょう✦



## 御殿場十字の園 公式インスタグラムのご案内

御殿場十字の園は、異なる環境で自分たちの生きる場所を見つけ、互いに違いを活かしながら、つながり調和していく「生物多様性」を尊び、猫や犬が安心して此处に居てくれる、そして人も共に微笑んで暮らしていくことができることを願って2つの公式インスタグラムを開いたしました。

「御殿場十字の園サイトからのリンク先」、「相談役セラ(犬)」、「室長しろ(猫)」の3つのQRコードを書き出します。iPhone、Android、あるいはiPad等のタブレット端末で読み取っていただいて、アクセスして下さった方が微笑んでくださればと思います。



御殿場十字の園



相談役セラ(犬)



室長しろ(猫)

QRコードはQR Codeは商標登録商標です。

## あとがき

林檎が今回出てくる季節になりました。林檎でふと思いつくのは、姉妹が家族経営する小さな宿で「失敗したから生まれたい」と伝わるお菓子の伝説。その日調理担当の姉ステファニーはアップルパイを作ろうと林檎と砂糖、バターを入れて焼き始めました。ふと見るとパイ生地がそこに。型に敷き忘れたのですね。証拠隠滅を図った彼女は、それを上から被せて窯の中に。焼き上がった林檎はカラメル状の砂糖が染み込んで味わたった皆を笑顔にしたと言います。レシピと味は残念ながら隠滅できなかった失敗と共に「タタン姉妹が作ったタルトタタン」と世界中に伝わりました。林檎の逸話に美味しい幸せのかけらを載せて最新号をお手元にお届けします。

(やまもと)

